



KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

**UNITE  
FOR  
GOOD**

2025～  
2026年度  
テーマ

R.I. 会長テーマ 「よいことのために手を取りあおう」

R.I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

R.I.2720地区テーマ 「みんなでつなぐ、育てる、  
ロータリー・リレーションシップ」

R.I.2720 地区 ガバナー  
藤田千克由

熊本G.R.C.テーマ 「ロータリーを楽しみ積極的な参加を！  
楽しいロータリー環境を自分で作ろう！」

熊本グリーンRC会長  
山口 翼

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山口 翼 ■幹事：田代 武 ■会報担当：江上泰弘  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

第1590回

2025 - 2026 年度 第25回

令和8年3月2日

### 【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30

「君が代」(第1週目)

「友と語ろう」(熊本グリーンRCの歌)

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (山口翼 会長)

- ・熊本県環境保全課  
主幹 小林頼正 氏
- ・熊本県環境立県推進課  
課長補佐 北之園健憲 氏
- ・熊本県環境政策課  
参事 倉岡佑次 氏

友情の握手

会長挨拶 (山口翼 会長)

皆様こんばんは。先日のIMはお疲れ様でした。いま世界中で紛争が起こっていますが、ロータリーでは世界交流があり、様々な国の方と交流することができます。個人個人の交流から世界の平和へ繋がれば良いなと思います。

本日はよろしくお願ひ致します。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

幹事報告 (田代武 幹事)

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本東RC]

・3月17日(火)の例会は、米山奨学会送別例会のため、同日19:00より松屋本館にて行います。

・3月24日(火)の例会は、第47回青少年卓球大会のため、3月26日(木)に変更して行います。熊本市総合体育館にて、09:00に開会式が行われます。

[熊本東南RC]

4月1日(水)の例会は、創立記念例会のため、同日18:30より城見櫓にて行います。

●例会取り止め

[熊本東RC]

3月10日(火)の例会は、クラブ指定の休会のため、取り止めます。

[熊本東南RC]

3月18日(水)の例会は、祝日が含まれる週のため、取り止めます。

[熊本西南RC]

3月19日(木)の例会は、定款に基づき、取り止めます。

### 卓話予定

- 3/9 新入会員卓話 寺本 智会員
- 3/16 新入会員卓話 嘉悦 雅文会員
- 3/23 例会休会(基本的に5週ある月は1回休みにする)
- 3/30 「観桜例会」

(18:10にサクラマチに集合し、グリーンRCで植樹した桜の前で集合写真、18:30～「仲むら」にて例会)

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

## 出席報告

(田上裕章 クラブ管理運営委員 (出席担当))

	会 員 総 数	23名	出席率
3 月 2 日	出席免除会員数	0名	52.17%
	計算上会員数	23名	
	出席会員数	12名	
2 月 2 日	前回の出席会員数	12名	68.18%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	15名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・1/21 ローターアクト例会 河野 君			
・2/27 I.M. 田代 君、田上 君			

## 委員会報告

熊本グリーンRACの休会の件

報告者：青少年奉仕委員長 山口悦史氏

熊本グリーンRACが今2名在籍し活動されておりますが、6月末で1名退会となり、残りの1名では例会さえ行えないので、アクト側とも話し合いをした結果。3名位本当に在籍して活動をして下さる人が現れるまで、2026年7月より暫く休会扱いとする事になりました事をご報告致します。

## スマイル (山口悦史会員)

### ●山口 翼 君、田代 武 君

「本日は熊本県より環境保全課の主幹 小林様、環境立県推進課 課長補佐 北之園健憲 氏、環境政策課 参事 倉岡様のご来訪に心から感謝申し上げます。どうぞ宜しくお願い致します。」

### ●松村秀逸 会員

「本日は熊本県より小林頼正様、北之園健憲様、倉岡佑次様による卓話で地下水の浄化と工業用排水のお話をして頂きます。忙しい中にありがとうございます。御礼にスマイルします。」

### ●宮部康弘 君

「本日は熊本南 RC から呼ばれ卓話を行いました。そして夜は理事会までという事でロータリーの1日になりました。最後まで奉仕の心で頑張ります。」

### ●田上裕章 君

「本日は地下水排水の件にて環境保全課 小林様、環境立県推進課 北之園様、環境政策課 倉岡様の卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。」

### ●山口悦史 君、荒木一之 君、江上泰弘 君

「本日は熊本県より小林様、北之園様、倉岡様のご来訪を心より歓迎致します。熊本にとって大切な水の話、楽しみにしております。」

## 3. 例会プログラム

卓話者：

熊本県環境保全課

主幹 小林頼正 氏

熊本県環境立県推進課

課長補佐 北之園健憲 氏

熊本県環境政策課

参事 倉岡佑次 氏

演題：

「熊本県の地下水保全の取組み」

～くまもとの豊かな地下水を未来へ守り、育て、活かす～



## 4. 閉会・点鐘

\* 例会後定例理事会開催

### 3. 卓話 「熊本県の地下水保全の取組み」



- 左： 熊本県環境政策課  
参事 倉岡佑次 氏
- 中央： 熊本県環境立県推進課  
課長補佐 倉岡健憲 氏
- 右： 熊本県環境保全課  
主幹 小林頼正 氏

**熊本県の地下水保全の取組み**

令和8年3月  
熊本県 環境生活部  
(環境政策課・環境立県推進課・環境保全課)

## 熊本県地下水保全推進本部

熊本の宝である地下水の確実な保全を図るため、庁内関係部局が一体となって、課題解決に向けた取組を迅速かつ強力に推進する。地下水の保全を具体的に推進するため、幹事会を置く。

本部会議	(メンバー) 知事(本部長)、両副知事、知事部局関係各部(公室)長、教育長、企業局長、県央・県北本部長	【令和6年度】3回開催 【令和7年度】 第1回：令和7年4月16日開催 第2回：令和7年10月31日開催
幹事会	(メンバー) 庁内関係所属長 ※市町村等の関係者に出席を依頼することができる	【令和6年度】4回開催 【令和7年度】 第1回：令和7年10月20日開催

地下水質の  
保全

PFOS・PFOA調査、硝酸性窒素対策、  
半導体工場からの排水対策、  
環境モニタリング

地下水量の  
保全

地下水位の監視、  
地下水涵養の推進、  
地下水取水量の削減

情報発信

# 「地下水質の保全(河川含む)」

令和7年度 地下水保全の取組項目	
＜地下水質の保全(河川含む)＞	
PFOS・PFOA調査・対応	これまで未実施の定点を調査し、県の全ての定点(地下水105、河川51地点)の環境調査を完了予定。 水質基準への格上げ(令和8年4月)に備え、市町村等の水道事業における検査をフォローアップ。県が実施する飲用井戸等の衛生検査(150か所)の検査項目にPFOS及びPFOAを追加。飲用井戸所有者に対する検査費用支援を実施。廃棄物最終処分場における指針値超過事案に対応。 新たな分析機器の導入による分析体制の強化。
硝酸性窒素対策	令和7年3月に第二期熊本地域硝酸性窒素削減計画を策定。 令和7年1月に作成した個別計画策定マニュアルを活用し、取組推進市町村(11市町)の個別計画策定を支援。
特定公共下水道整備の推進	特定公共下水道の早期稼働に向けて、処理場や管路の測量及び設計、用地取得を実施。
法令等規制物質の調査結果の発信	法令等規制物質(河川・地下水・下水放流水)の調査結果の情報発信を強化。 ・速報値の公表回数を拡充(河川年4回→年12回) ・調査地点(河川51地点、地下水105地点)を県HP地図情報上に表示し、速報値及びデータを可視化。
法令等規制物質・規制外物質の環境モニタリング	新たな半導体工場稼働(操業開始)前の令和5年8月から、半導体関連企業の集積地域周辺の河川・地下水・下水放流水について、規制外物質の環境モニタリングを実施。引き続き、定期的なモニタリングを継続するとともに、専門家で構成する環境モニタリング委員会で工場稼働前後の結果を検証し、対応を検討。

3

# 「地下水量の保全」

令和7年度 地下水保全の取組項目	
＜地下水量の保全＞	
地下水位の継続的な監視	県内35か所の観測井戸において地下水を継続的に監視。 地下水位リアルタイム配信対象井戸について、令和7年度、県地下水保全条例の重点地域である熊本地域を中心に更に4箇所追加し、計7箇所に拡大する予定。
熊本地域地下水総合保全管理計画の策定	令和7年度中に熊本地域11市町村と協働で、「第二期熊本地域地下水総合保全管理計画(令和8年度～12年度)」を策定。
冬期湛水事業	(公財)くまもと地下水財団等へ必要な支援を行い、涵養効果の高い白川中流域を中心に水田湛水の取組を継続。
阿蘇地域における地下水涵養の推進	阿蘇の草原等が水源涵養に果たす役割に着目し、企業や自治体、住民等の受益者が草原等維持活動を支援する仕組みを構築するため、寄附を受け入れる基金を設置し、阿蘇の地下水保全活動の貢献度を評価する指標を整備。
営農のみに頼らない涵養対策の検討	白川中流域における調整池を活用した人工涵養の実現に向けて、令和6年度調査を踏まえ、下流域への必要供給量等の調査を実施し、涵養可能量を算定。
道路排水計画について	大津植木線多車線化や合志ICアクセス道路の整備に際し、路面に降った雨水を可能な限り地下に浸透させる排水施設(浸透柵、調整池等)の構造や配置を定め、整備を推進。
新規工業用水道整備の推進	竜門ダムを水源とする有明工業用水道の未利用水を活用した半導体関連企業への給水に向けて、浄水場建設地の用地取得、浄水場や管路の詳細設計を実施。
地下水取水量削減のための再生水導入に向けた検討	本県における水再生システムの導入可能性について、庁内PTで検討。

4

# 「情報発信」

## 令和7年度 地下水保全の取組項目

### ＜情報発信＞

(これまでの主な取組)

- ① 地下水保全のパンフレット作成(1.2万部)
- ② ショート動画のYouTube配信(最大6万回再生)
- ③ 県政TV(地下水保全推進本部会議設置後毎年度放送)
- ④ 本部会議、記者会見などパブリシティの活用



⑤ 県ホームページでの情報発信

- ・県内141地点(国・県・熊本市所管)の地下水位(うち3地点をリアルタイム配信)
- ・地下水量の影響シミュレーション結果
- ・河川及び地下水の水質測定結果
- ・法令等規制物質及び規制外物質の環境モニタリング結果
- ・本部会議の資料

#### 【近時の主な取組み】

##### 県政情報番組での発信

『GO!くまモン☆ナビ』(TKU)で、R7.11.7「豊かな地下水を育む阿蘇の草原を守る取組み」、R8.2.6「水の安心を支える水質の保全」をそれぞれ紹介

##### 大阪・関西万博での発信

R7.9月、九州各県合同イベント「Treasure Island KYUSHU 九州の宝を世界へ」において、地下水保全の取組をPR

##### 動画共有サービスでの発信

インフルエンサーを活用し、YouTube、TikTok等により「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」への寄附を幅広く呼び掛け

##### SNSを活用した発信

県公式X、ターゲティング広告等により、地下水保全に関する正しい情報を発信

##### 県ホームページの見直し

従来のようにデータやリンク等を羅列するのではなく、県民が検索しやすいように、ビジュアル等を改善

今後も、新たな動きや  
県民の皆様のご意見等に応じて、  
様々な手法により情報発信を行っていきます!



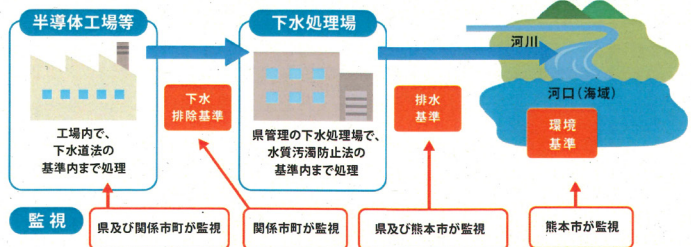
5

# 「法令等規制物質・規制外物質の環境モニタリング」

## 法令等規制物質・規制外物質の環境モニタリング

### 1 排水処理の流れの例と法令等に基づく監視

- ・半導体関連企業集積周辺地域における工場からの排水は、工場内の排水処理施設で下水道法の基準内まで有害物質等を除去し、下水道に排出。
- ・下水処理場では、水質汚濁防止法の基準内まで汚れを除去し河川に放流。



半導体工場等 → 下水処理場 → 河川

監視: 県及び関係市町が監視, 関係市町が監視, 県及び熊本市が監視, 熊本市が監視

○県と関係市町が連携して水質監視。  
○結果等は公開するとともに、法令等に基づき対応する。

### 2 半導体関連企業集積周辺地域における規制外物質の環境モニタリング

- ・熊本県では、県民の不安解消を図るとともに、予防的な対策を講じるため、法令等に基づく監視に加え、規制外物質のモニタリングを令和5年8月から実施。新たな工場稼働前後の環境の変化を客観的かつ科学的に把握。
- ・専門家委員会(令和5年度設置)の意見を踏まえ、モニタリングを実施。

**法規制物質**  
有害物質28項目

**項目**  
金属類: ガリウム等の金属18項目  
化学物質: 有機フッ素化合物250項目  
その他の化学物質10,000項目(スクリーニング調査) 等

**法規制外物質追加モニタリング**

**地点: 13地点**  
坪井川3地点、有明海1地点、  
地下水7地点、  
熊本北部浄化センター排水 等

○今後も継続して調査・解析を行い、専門家委員会の検証を経て公開するとともに、適切な対応につなげる。

10

# 世界中で活躍する「行動人」

2026年1月 By Brad Webber

## フィリピン



フィリピンの大学では、イロイロ・ロータリークラブからの支援によって、電気自動車の技術者を養成する自動車修理プログラムが拡大しています。ロータリー財団グローバル補助金32,000ドルの支援で300人以上の学生と教員に設備を提供した、と話すのは、同クラブの会員で大学の広報を担当するハーマン・ラゴンさんです。大学ではまた、2028年まで毎年120人の研修生を受け入れることを目標に、若者や成人を対象にした地域密着型の研修も計画しています。クラブは、この活動で韓国の南原中央ロータリークラブと協力しました。「この補助金は、貧しいが意欲ある学生たちの勉学を後押しするだけでなく、地域社会への真の奉仕でもあります」とラゴンさんは言います。

## 英国

インド文化を祝うイベントで、ハリウッドにゆかりのある地元著名人が登場し、メイデンヘッド・ブリッジ・ロータリークラブの奉仕活動のために約2,200ドルの寄付が集まりました。出席者の中には、有名人の振付師であるチャール・シャーさんや歌手のアトゥル・プシュカルナさんもいました。クラブ会員55人のうち、10人がインド出身またはインドの血を引いています。「笑い、ダンス、そして聴衆との一体感は、奉仕を目的とする文化的イベントがどれほど強く人びとを結びつけるか

を示していた」と、クラブ創立会長であるリサ・ハンターさんは言います。11月のイベントでは、パーキンソン病の支援グループへの寄付と、母子の健康のためのウガンダへの職業研修チームの旅費が集まりました。



## 米国

エヴェレット・シングルトンさんは、1950年代にイリノイ州コリンズビルで学校における人種統合に貢献した教育者です。コリンズビル高校のインターアクターたちは、シングルトンさんの墓に墓石がないことを知り、墓石に必要な1,700ドルを募金するための食事会を企画しました。1970年に亡くなったシングルトンさんに敬意を表することは市民意識の高い生徒たちにとってごく自然なことだったと、クラブアドバイザーのブラッド・スカーティッチさんは言います。人種隔離時代に町の黒人居住区で育ったシングルトンさんは、さまざまな学校で教師と校長を務めました。コリンズビル・メアリービル・ケイシービル・ロータリークラブ会員であるスカーティッチさんは、こう話します。「生徒たちは活動に参加し、地域社会に恩返しし、人びとを助けたいと強く願っています」

